

# S-mile 通信

令和5年9月15日発行 第67号

発行/理事長室 浜松市西区大山町 2958 番地の1



大切なものを  
なくすとき  
たいてい  
自分のことばかり  
考えている



## 在宅部の科学的自立支援介護研究会

法人の取り組みとして特養を中心に進めている「科学的自立支援介護研究会」ですが、デイサービスも昨年以来の研究会を再開し

ています。水分、食事、運動、排泄の4つのケアを中心に、認知症や虚弱の高齢者に対しアプローチをかけご本人の自立を促していきます。

各デイサービスでは4つのケアを促進する上で、サービス時間以外についても家庭でできるだけ関りを継続していただけるよう、ご家族に理解を求めながら進めています。また研究会には、こすもすのケアマネジャーややわらぎのヘルパー職員にも参加いただき、対象者について支援の方向性を検討します。

在宅のお年寄りには施設入所者に比べ、食事や排泄といった身の回りのことを自分の判断で行える方が多く、身体を動かす機会が多いことも適度な運動に繋がっています。そこで、主に水分摂取の重要性に焦点を当てた支援計画をたて実践していきます。

在宅部では、研究会の進め方についてはご家族やサービス事業者との多くの調整協力が不可欠であり、今年から研究会を3回（内2回は短時間）に分けて実施することとしました。

次回10/13（金）は3回目の開催となりますが、対象者に対し実際どのように支援を進めていったのか、また少しでも変化が見られたのか結果発表が楽しみです。

最期まで元気に生活を続けていきたいという気持ちは、誰もが切望していることです。

自己実現に向け本来の自立を取り戻せるよう、職員も実践を通してこの手法を学び研究会を進めて参ります。



## すこやか子ども食堂の「縁日」

湖東すこやか倶楽部で開催中の子ども食堂において、8月19日（土）「縁日」を開催しました。初めての試みでしたが、和地小学校生徒の

皆さんや近隣にお住いの小学生、また慶成会職員の皆様にも声をかけさせていただき、多くの子供達が来場しました。

当日は射的や輪投げ、駄菓子やスーパーボールすくいなど懐かしの出し物を用意し、昭和の時代にタイムスリップしたかのようでした。

各コーナーは大盛況で、予め用意しておいたお菓子や景品は殆どなくなりましたが、お祭りの雰囲気には子供達は大喜びであり、心に残る夏の良い思い出になりました。



射的の景品は大好評でした。



## カーネギーの法則～“褒める”

【カーネギーの法則】にはいくつかの大きな原則があります。  
「人を動かす 3 原則」「人に好かれる 6 原則」「人を説得する 12 原則」「人を交える 9 原則」等々・・・

以前ご紹介した“議論を避ける”“笑顔を忘れない”についても各原則の中で謳われているものですが、今回の“褒める”というテーマはどの原則においても出てくるものであり、改めてその重要性を認識します。

皆さんは日頃、職場の仲間や家族など周囲の人を褒めていますか？

人の悪口を言う、相手の欠点を攻撃する、不平不満をぶつけることは誰でも無意識にできますが、褒める行為は普段から相手を気に掛けているとなかなかできないものです。



人はお世辞でも褒められれば悪い気はしません、心から賛辞を送る方がより本当の気持ちが相手に伝わります。そして相手に褒められれば、自分も褒めてみようとして自然に優しい気持ちになります。やがては褒め合う空気が広がることで常態化し、家庭や職場の雰囲気も良くなります。僅かなことでも褒める、長所を認め褒める、そして心から褒める・・・褒めることは今すぐに誰でもできます。

まずは、目の前にいる人を“褒めて”みましょう！



## グリーンヒルズ東山ソーシャルワーク実習

8月18日（金）から9月20日（水）の23日間、グリーンヒルズ東山において聖隷クリストファー大学2年生2名のソーシャルワーク実習を受け入れています。

今回は、ほほえみと野の空で受入れていただき、介護職員と一緒に現場業務にも入りながら、コミュニケーションや支援内容についての体験実習を行っています。

また週1回開催されるスーパービジョン（SV）では、実習生が対象者のアセスメントや実践したことを報告し、専門職のアドバイスを受けながら支援する上での注意点や計画作成方法について学んでいます。

今回の実習から学んだことが、将来介護の仕事を行う上で役に立てばとても嬉しいです。これからの介護を担う世代として、大いに活躍されることを期待しています。

暑い時期の実習が続きますが、頑張ってください。



## 「医療的ケア演習」～実務者研修より

8月22、24日の二日間にかけて、実務者研修における必須の科目である「医療的ケア演習」が地域交流室で行われました。

実務者研修では、7回のスクーリング参加に加え対面研修の「医療的ケア演習」に参加し課題をクリアすることが義務付けられています。

7人の受講生が二日間に分かれ、終日専任講師の立会いのもと医療面に関する考え方や対応方法について学びました。7人とも無事に修了することができましたが、スクーリングについては10月までの間に4回の開催が予定されています。

介護福祉士国家資格取得まで道のりは長いですが、皆さんには体調に注意しながら頑張ってください。応援しています！

